



2021年7月1日

ニュースリリース

ジェットスター・ジャパン株式会社

## ジェットスター・ジャパン、新たな経営体制を発表

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡 優)は本日、経営体制の変更を発表しました。取締役会長 中村 泰寛が6月30日付けで定年退職したことに伴い、ニック・マッグリン(Nick McGlynn)が7月1日付けで取締役会長に就任しました。

中村氏は、これまでの2年間、ジェットスター・ジャパンの取締役会長としてリーダーシップを発揮し航空業界における豊かな経験と知識をもって当社の事業発展に多大なる貢献をされました。また、オペレーションのあらゆる側面において「安全」のさらなる向上に取り組み、事業基盤を支えました。

ニック・マッグリンは、カンタスグループのオペレーションとコマーシャルの両面で、オーストラリア国内、イギリスまたアジア各国において36年にわたり豊富な経験を積んできました。カンタスグループ貨物部門のチーフカスタマーオフィサーを担当したほか、シンガポールではカンタス航空のアジア地域担当ジェネラルマネージャーとしてアジア全体のセールス、マーケティング、オペレーションを統括しました。

マッグリンは、2021年1月にジェットスター・ジャパンに入社し、社長の片岡 優をはじめとする経営陣と共にジェットスター・ジャパンの日常業務を経営の立場から支援し、戦略を進めていきます。

中村氏の退職に伴い、コマーシャル本部長の河野 裕文が、7月1日付けで取締役に就任しました。河野は、2019年に日本航空よりジェットスター・ジャパンに入社しました。今後は、特に戦略やマーケティングなどのコマーシャル分野に重点を置きながら、ビジネスのさまざまな側面において社長の片岡をサポートします。

### 【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内15都市・17路線を運航。就航から3,500万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>